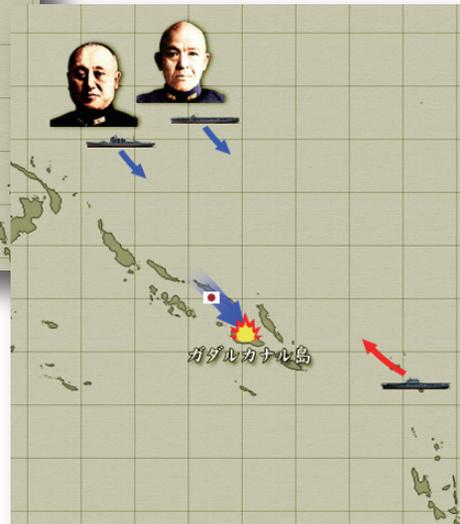
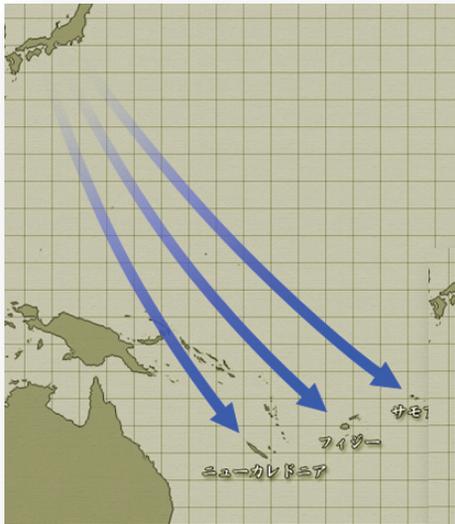


■南太平洋海戦



1942年8月

日本軍はフィジー、サモア、ニューカレドニアへ進出することにより、オーストラリアを孤立させるFS作戦を立案。

ミッドウェーの敗戦によりFS作戦は延期されたものの今後の作戦をにらみ、ソロモン海域のガダルカナル島に飛行場建設を決定した。

だが、日本軍のガダルカナル基地建設を脅威と感じたアメリカ軍は海兵隊をガダルカナルに上陸。

以後、この島を巡って日米の激しい戦いが繰り広げられることになる。

1942年10月、

日本艦隊は陸軍第17軍のガダルカナル総攻撃を支援すべく、南雲中将率いる第3艦隊(機動艦隊)、近藤中将率いる第2艦隊(前進艦隊)をソロモン海域に展開した。

第17軍は10月24日夜に上陸を開始。

それに呼応するようにアメリカ軍も、わずかとなった空母艦隊を派遣。

日米共に限られた戦力の中で、1942年最後の空母決戦が始まったのである。

■日本軍勢力

- ・ショートランド基地
 - 二式大艇3機(索敵機)
- ・機動部隊主体
 - 空母3隻 翔鶴、瑞鶴、瑞鳳
 - 九七式艦攻7機(索敵機)
 - 零式戦闘機75機
 - 九七式艦攻40機
 - 九九式艦爆36機
 - 重巡1隻 熊野
 - 駆逐艦8隻 時津風、天津風、初風、浜風、舞風、雪風、照月、嵐
- ・機動艦隊前衛
 - 零式水偵3機(索敵機)
 - 戦艦2隻 比叡、霧島
 - 重巡3隻 利根、筑摩、鈴谷
 - 軽巡1隻 長柄
 - 駆逐艦7隻 浦風、磯風、谷風、夕雲、風雲、巻雲、秋雲
- ・前進艦隊
 - 空母1隻 準鷹
 - 零式水偵4機(索敵機)
 - 零式戦闘機24機
 - 九七式艦攻6機
 - 九九式艦爆19機
 - 戦艦2隻 金剛、榛名
 - 重巡4隻 妙高、高雄、愛宕、摩耶
 - 軽巡1隻 五十鈴
 - 駆逐艦9隻 海風、涼風、江風、高波、長波、巻波、黒潮、親潮、早潮

**10月26日 20:00 までに
ヘンダーソン基地にダメージを
与えつつ、
米艦隊の空母を1隻以上
撃沈する。**

